

呼吸器内科

■一般目標 GIO

- ① 呼吸器科における重要な症状を理解し、適切な身体診察を行うことができる。
- ② 状態に応じた適切な検査を選択し、指示・実施することができる。
- ③ 重要な呼吸器疾患の鑑別診断と重症度の評価を行うことができる。
- ④ 重要な呼吸器疾患の初期治療を的確に計画・実施することができる。
- ⑤ 治療のアウトカムを評価し、治療内容の変更を検討することができる。
- ⑥ 呼吸器疾患について適切に上級医・専門医にコンサルテーションを行うことができる。
- ⑦ 患者・家族への病状説明ができる。
- ⑧ 医療スタッフとの円満なチーム医療が実践できる。

■行動目標 SBO

- ① 呼吸器疾患特有の病歴聴取ができる。
- ② 呼吸器疾患に関わる身体所見(視診・触診・打診・聴診)について説明できる。
- ③ 画像(胸部 X 線・CT・MRI・RI)の読影ができる。
- ④ 喀痰のグラム染色・抗酸菌染色の実施・評価ができる。
- ⑤ 動脈血採血ができ、分析結果を説明できる。
- ⑥ 呼吸機能検査の結果を説明できる。
- ⑦ 抗菌薬の適切な選択・投与・評価ができる。
- ⑧ 胸腔穿刺・胸腔ドレーン挿入ができる。
- ⑨ 中心静脈カテーテル挿入ができる。
- ⑩ 気管支鏡検査・胸腔鏡検査ができる。
- ⑪ 呼吸器疾患の common disease の診断・治療ができる。
(気管支喘息・肺炎・結核・COPD・肺癌・呼吸不全など)
(2年次以降)
- ⑫ NIPPV の適応決定・導入・管理ができる。
- ⑬ 気管内挿管・人工呼吸器の基本的設定ができる。

■学習方略 Learning strategy

LS1: On the job training

- ・ 指導医の監督指導のもとに、入院患者を受け持ち、その診療を行う。
- ・ 当直の時以外でも、呼吸器救急に遭遇した際には積極的にその診療に参加する。

LS2: Presentation

- ・ 回診や病棟ミーティングにおいて患者プレゼンテーションを行い、患者の診断や病態の理解を深める。

LS3: 学会発表など

- ・ 院内での研修医報告会や CPC などで発表を行う。
- ・ 院外の研究会・学会で発表を行う。

■評価 Evaluation

- ① 指導医は患者の診療内容、診療録の記載・プレゼンテーション、医師としての職業的態度、知識・学習態度などを適宜評価する。
- ② 研修責任者は呼吸器内科研修修了時に研修医と面談し、形成的評価(指導医、研修医双方へのフィードバックを含む)および総括的評価を行う。
- ③ 総括的評価、コメディカルによる評価は、EPOC 及び病院全体で行い研修管理委員会から各研修医にフィードバックされる。

■週間スケジュール

- ・ 平日午前8時30分より呼吸器科回診。
- ・ 平日午後4時より症例プレゼンテーション後、呼吸器科回診。
- ・ 毎週木曜日午後1時半より5東病棟ミーティング:看護師・MSW・薬剤師とともに患者の診療方針について討議する。主治医として治療方針を説明する。
- ・ 火曜日・金曜日午後1時より気管支鏡検査(不定期に胸腔鏡検査)
- ・ 研究会、学会において発表を行う。